



糖尿病ワンポイントアドバイス「歯周病が糖尿病に及ぼす影響」	1ページ
「応接室に寄贈された額～自立 共生～」の紹介／「健康フェスタ からだスキャン」開催のお知らせ／医療福祉相談室だより	2ページ
医療安全管理室からのお知らせ⑨／新任医師紹介	3ページ
三重病院あるあるクイズ⑨／アレルギー教室のクッキング／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

糖尿病
ワンポイントアドバイス

歯周病が糖尿病に及ぼす影響



7月の糖尿病教室にて、「歯周病と喫煙が糖尿病に及ぼす影響と、正しい歯磨きの仕方」についてお話をさせて頂きました。糖尿病教室では、病棟看護師による糖尿病の概要と予防、誰でもできる運動の仕方なども皆さんと一緒に学びアドバイスも頂きました。

歯周病は歯槽膿漏とも呼ばれ、その名の通り「歯」の「周り」の病気です。

歯周病と糖尿病、全く違う病気なのになぜ影響があるの？と思われるでしょう。

実は、意外に共通点が多いのです。下に示すように初期症状、年齢、自己管理の重要性など、類似点があります。

糖尿病に罹っていて歯周病もある人が、歯周病の治療をせず放っておくと血糖コントロールが悪化しますし、逆に、そういう方に歯周病の治療をすると、歯周病が治っていくとともに血糖のコントロールも改善します。このことを、少しでも多くの方に知っていただければ、嬉しいです。

糖尿病教室では、最後に、歯周病に効果的な歯磨きの仕方を練習したあと、希望者に歯周病検診を行いました。時間が限られていたため多くの方の検診は出来ませんでした。歯周病を心配されている方はぜひ歯科外来へお越しください。

〔表〕 糖尿病と歯周病の類似点

	2型糖尿病	歯周病
初期症状	ほとんど無兆候	ほとんど無兆候
生活習慣病としての側面	あり	あり
年齢	40歳以上に多い	35歳以上に多い
自己管理	食餌療法・運動	プラークコントロール 歯磨き



(歯科口腔外科 山口晋司)